

温暖化防止

ストリート

街角

道

KIKO NETWORK 気候ネットワーク

第14号
2005.7.1

「温暖化防止・ストリート」の由来

このストリート（街角）で温暖化防止について語り、情報や人の環が広がっていくことが、温暖化防止への道（ストリート）につながることを願っています。一緒に歩いてみませんか。

気候ネットワーク

～わたしたちはめざします～

1. 抜本的な国内対策で京都議定書の6%削減を！
2. 環境重視の社会経済システムを！
3. 市民・地域主導で温暖化防止の促進を！
4. 政策決定プロセスに市民の参加と情報公開を！
5. 南北の公平をめざし、南の人々と連携を！

目次

- ・用語解説「緩和と適応」…………… P.1
- ・団体紹介「WWFジャパン」…………… P.2
- ・温暖化の影響・こんなことできる… P.3
- ・進行する温暖化影響調査の紹介・本紹介・ボランティアの声…………… P.4

気候ネットワークの会員同士のつながりを強め、その環を一層多くの人に広げたいと思い、この「温暖化防止・ストリート」を発行しています。

緩和と適応

地球温暖化に関する用語解説



- 【例】 緩和：「温室効果ガスの排出を減らす」
適応：「海面上昇の被害を少なくするために防波堤をつくる」

温暖化問題に関する国際交渉の場やIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の報告書に「緩和」「適応」という言葉がよく出てきます。どちらも温暖化対策だけど、どう違うのでしょうか。

「緩和」（mitigation）は気候変動を緩和するという意味で使われ、温室効果ガスの排出を減らすことです。「適応」（adaptation）は、温暖化の影響や被害に適応することで、防波堤をつくったり、農業の方法を工夫したりすることが当てはまります。

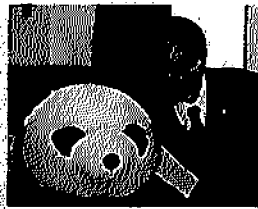
先進国での温暖化対策というと、省エネや自然エネルギーの普及等でCO₂の排出を削減する

緩和策が一般的です。一方、島嶼国（とうしょこく）など既に被害があらわれている国では適応策が緊急の課題です。またその他の途上国でも適応策と、化石燃料に頼らない持続可能な発展が重要な課題です。

もちろん、国内の温室効果ガスの大幅な削減を最優先すべきですが、さらに、先進国の費務として、途上国での適応策に資金支援・技術支援・人的支援を行う必要もあります。また、日本でも温暖化の影響や被害が現れ始めていることから、国内の「適応」も重要な課題となってきたと言えます。

紹介者

今回は、世界でも最大な環境NGOの一つである『WWFジャパン』の紹介です。気候変動プログラムスタッフの山岸さんから紹介していただきました。



山岸 尚之さん

今回の団体は

気候ネットワークの団体会員の紹介です。

WWFジャパン・気候変動プログラム

WWF（世界自然保護基金）は世界50ヶ国以上にオフィスを持ち、100ヶ国以上で活動を展開している世界でも最大な環境NGOの1つです。WWFジャパンは、日本のオフィスとして1971年に設立されました。

WWFは、野生生物、森林、海洋・沿岸、淡水生態系、有害化学物質、そして温暖化の6つのテーマについて活動を展開しています。

WWFというと、パンダのマークのイメージが強いため野生生物の保護活動によってご存知の方が多いと思いますが、現在では、様々な環境問題に対する取り組みを行っています。

温暖化問題については、気候変動プログラムが中心になって問題解決へ向けての働きかけを政府、企業、一般の人々に対して行っています。気候変動プログラムは20ヶ国以上の代表から成るグローバルなチームを組んでおり、地球規模で活動を展開しています。

気候変動プログラム全体として現在最も力を入れているのは、最大の排出部門である電力部門を対象とした「パワー・スイッチ！」キャンペーンです。世界全体のCO₂排出量の中で、電力部門（熱供給を含む）の排出量は39%を占め（2001年のIEA報告）、最も大きなシェアを占めます。その最大の排出部門からの排出を2050年までにゼロにするという目標をこのキャンペーンでは掲げ、それへ向けて様々な働きかけを行っています。



WWFジャパンでも、2003年に電力部門からのCO₂削減の可能性を検討したパワー・スイッチ！シナリオの発表や、世界の電力会社ランキング日本語版の発表な

佐川急便のクライメート・セイバーズ参加発表記者会見の様子

どの活動を行ってきました。

この他、企業に温室効果ガス削減の目標を掲げてもらい、それをWWFと第三者認証機関が検証するというクライメート・セイバーズという取り組みも行っています。海外では、ナイキ、ジョンソン・エンド・ジョンソン、IBMなど7社が現在参加しており、日本からは佐川急便がこの取り組みに参加しています。

また、WWFジャパンは、日本で温暖化防止活動を行っている日本のNGOの1つとして、気候ネットワークとも日ごろから緊密な連携の下、政府や産業界に対する働きかけを行っています。

WWFが特に重視しているのが国内排出量取引制度の提案で、2004年には、提案報告書の発表を兼ねて、東京で様々なステークホルダーを招いてのシンポジウムを開催しました。

このような政策提言型の活動だけでなく、「温DOWN化計画」という一般の方々向けのキャンペーンを行っています。温DOWN化計画は、WWFジャパン、環境省、エコロジー・オンライン、（財）水と緑の惑星保全機構の4者で構成される実行委員会によって実施されているキャンペーンです。温暖化の緊急性を伝えると共に、一般の人々が、日々の生活の中でとることのできる対策を呼びかけています。この中では、ブログを利用して様々な温暖化“体験談”を募集する「身近で感じた温暖化ストーリー」という企画も進行中です。



温DOWN化計画については、サイトもあるので是非ご覧ください（www.ondown.jp）。

2月16日の京都議定書発効記念イベントの様子（東京・銀座ソニービル前）

WWFジャパン・気候変動プログラム

〒105-0014 東京都港区芝3-1-14 日本生命赤羽橋ビル6F

TEL：03-3769-1711（代） FAX：03-3769-1717 URL：<http://www.wwf.or.jp/>

世界各地の温暖化の影響

世界・日本各地で見られる、温暖化の兆候や影響に関する情報を掲載していきます。

地球温暖化と農業

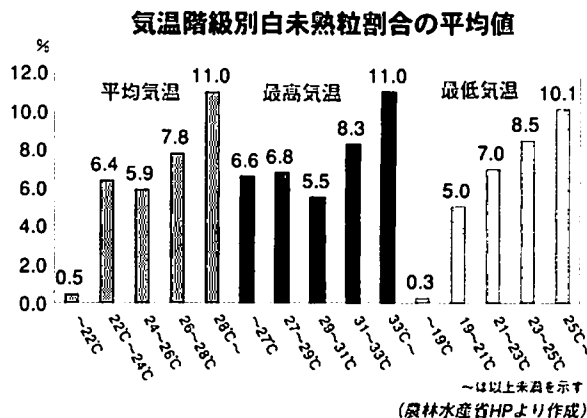
吉本垂裕美 (気候ネットワークボランティア)

地球温暖化は農業にどんな影響を与えるのでしょうか。日本の農業といえばまず稲作ですが、8月から9月にかけた出穂後40日間(実を結ぶ時期)に高温が続くと、登熟不良や不稔(実を結ばないこと)が生じます。登熟不良は粘り気のない乳白米化や小粒米化といった品質低下をもたらします。また、稲作以上に影響を受けると言われているのが果樹栽培です。果樹は永年作物であること、各地で特化・高付加価値化による経営が進められていることがその原因です。日本国内だけでなく、アジアや世界に目を向けると、状況はより深刻です。例えば、トウモロコシや小麦は米以上に温暖化の影響により収穫量が低下するという報告が提出されています。

温暖化が農作物に与える影響は、気温の上昇による直接的なものではありません。害虫・病虫の増加や台風・異常気象の発生、河川の水量変化なども農作物に被害を与える要因となります。こうした影響は既に日本でも顕著になってきています。害虫の世代数の増加や北限

の上昇が確認され、2002年度は異常高温による乳白米化が起こり、米価の低下が問題となりました。

こうした問題に対処するため、農家の人々は様々な工夫を模索しています。また、全体として見れば総生産量は変わらない、とする報告も存在します。しかし、不安定な気候状況の下、対応を迫られる生産者が多大な負担を強いられることに変わりはないのです。



進行する日本温暖化影響・調査プロジェクト(4頁参照)では、農業への影響の他に次のようなテーマについても調査を進めています。1) 山林・山岳への影響(アポイ岳、富士山など)、2) 大型ほ乳類への影響(シカ、クマ、イノシシなど)、3) 海洋生物への影響(ウミガメ、サンゴなど)、4) 異常気象の兆候(台風、集中豪雨など)、5) 健康被害への影響(熱中症、感染症など)、6) 昆虫への影響(ナガサキアゲハ、クモなど) これらのテーマについて詳しくご存じの方は、事務局まで情報をお寄せください。



このコーナーでは、「家庭・個人」・「地域・グループ」できる効果的な温暖化対策を紹介していきます。

検証

クールビズってなに? 過剰冷房をなくすためです!

今回は、最近テレビなどで話題になっている「クールビズ」と温暖化防止の関係性を検証してみました。

日野からクールビズに取り組み
京都府センターの伊東氏と木野環境の斎藤氏



政府が音頭をとって進めている夏の新しいビジネススタイルのクールビズ(COOL BIZ)が、ファッションや経済効果などで話題になっています。でも本来は「冷房を28℃に設定した室内でも快適に働くことができる服装」にしましょう、という運動のはずです。夏季のオフィスの室温を26℃から28℃にすることにより、冷房の消費エネルギーの約17%が削減できるとされています(省エネルギーセンター試算)。肝心なのは、省エネ・CO2削減のためにあらゆる場

所で過剰冷房をやめることです。特に公共交通機関の車内、各種公共施設、中核的な商業施設から過剰冷房をなくすことが重要ですから、政府にはこれら関係業界・自治体などに確実な実施を促すことが求められます。私たち市民も、クールビズの流行で認知度が上がって言いやすくなっていますが、電車・公共施設・お店などが過剰冷房だったら「省エネ・温暖化防止のために冷房の設定温度を適切にしてください!」と声を上げましょう。

気候ネットワーク運営委員 畑直之

Action

このコーナーでは、気候ネットワークのプロジェクトや研究会、キャンペーンなどの紹介をしていきます。

気候ネットワークの活動紹介

「進行する日本温暖化 影響・調査プロジェクト」

気候ネットワークでは2002年にWWFジャパンからの助成を受け「進行する日本温暖化影響調査」をおこないました。全国の研究機関、団体、個人の協力を得て、さまざまな温暖化の兆候に関する連続セミナーを開催し、その成果をまとめたパンフレットを発行しています。当時はこうした温暖化の状況に関する情報が少なかったこともあって、専門家の方々も含めてよい評価をいただくこともありました。

近年では「気候の危機」フォーラムの設立をはじめ各

種関係機関でも、さまざまな温暖化の影響調査と発信が進みつつあります。こうした中、気候ネットワークでも新たな状況の把握と情報の更新、そして市民に向けての発信を目的に、昨年11月よりプロジェクトを再開しています。このプロジェクトの進捗状況および調査の成果については、セミナーの開催やストリートでの掲載を行っていく予定です。

もしみなさんの周辺で温暖化の影響と思われることがあれば、京都事務局までご連絡ください。

2年前に作成した「進行する日本温暖化」パンフレット



Book

本の紹介

おすすめの本の紹介です。

「スモール・イズ・プロフィタブル SMALL IS PROFITABLE 分散型エネルギーが生む新しい利益」

世界的に著名なエネルギーの研究者であるエイモリー・B・ロビンズ率いるロッキーマウンテン研究所から、これまでの常識を打ち破る一冊が届けられた。発電技術にとどまらず社会・経済システムも対象にした価値分析と米国を中心とした具体例は非常に示唆に富む。これまで不安定だと言われてきた自然エネルギーはリスク軽減効果が大きく、分散型エネルギーが生むそのメリットは大きい。この本は、これから大きな変化が待ち受けている日本のエネルギー政策を考えるにあたり重要なヒントを与えてくれるでしょう。



85版、555ページ、4800円(税別)
発行：省エネルギーセンター
著：エイモリー・B・ロビンズ他
訳：山藤泰
発行年月日：2005/05/24

Volunteer

ボランティアの声



気候ネットワークでは
たくさんのボランティアが
一緒に活動しています。
そのボランティアからのコメント！

京都ボランティア 前田昌宏さん

立命館大学4回生の前田です。今年の4月から京都事務所のボランティア・チーフを務めています。各々のボランティアが活動しやすいように様々なサポートをしていければと考えています。また、私自身は自然エネルギーやDTPなどに興味を持っており、気候ネットワークでの活動を通して様々なことを経験できればと考えています。私は大学院に進学し、温暖化問題について研究していく予定です。ここででの活動を十分に活かしていきたいと思ひます。

編集後記

梅雨なのに雨が降らず、またこの時期から異様な暑さで、ムシムシして気持ち悪いですね。暑いからと言ってエアコンの冷房に頼るのはいやです。でも、我慢しすぎて仕事の能率が落ちたり、ストレスがたまったり、病気になったりしても困りものです。やっぱりこんな季節は、1ヶ月の「梅雨・夏休み」をみんなでするべきではないでしょうか。(おかゆ)



特定非営利活動法人 気候ネットワーク

代表：浅岡美恵 / 副代表：須田春海 / 事務局長：田浦健朗

URL : <http://www.jca.apc.org/kikonet/>

「温暖化防止・ストリート」14号
2005年7月1日発行 (隔月1日発行)
編集・DTP：岡登子・豊田昭介

京都事務所 (本館)
〒604-8124 京都市中京区高倉通四条上る高倉ビル305
TEL : 075-254-1011 FAX : 075-254-1012
E-mail : kikonet@jca.apc.org

東京事務所
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-7-3半蔵門ウッドフィールド2F
TEL : 03-3263-9210 FAX : 03-3263-9463
E-mail : kikotko@jca.apc.org

高純100%の再生紙に大豆インクを使用し、電力発電による自然エネルギーで印刷しました。



郵便振替口座：00940-6-79694 (加入者名：気候ネットワーク)
銀行振込口座：東京三菱銀行 京都支店 普通口座 1370852 (気候ネットワーク)